

作物生産性の向上と地域の活性化

魅力ある登和里、持続可能な地域づくりをめざして！

活動対象：士別市朝日町登和里地区（8戸）

収量が不安定だったてんさいの直播栽培技術支援として株立本数の向上を提案したことで、収量の高位安定化が実現された。大豆過作であったことから輪作体系の見直しを進めたことで、ほ場の透水性やpHに問題のあったほ場の収量向上と新規作型の定着に結びついた。秋まき小麦の製品歩留が低かったことから、葉枯症対策の実証と基本技術支援を展開したことで、葉枯症対策の確立と安定生産が実現された。地域活性化に向けたイベント支援については、対象の若手グループと開催方法の見直しを行い、新規参入希望者の受入れなど新たな取組へとつながった。

1 課題の背景



士別市朝日町登和里地区
対象農家：8戸
平均年齢：59歳
平均耕地面積：17.7ha

背景	課題	普及Cの活動	目標
・てんさい 直播栽培の 収量不安定	・直播栽培の 収量安定化	・基本技術実践支援 ・栽植密度増加試験の支援	農業所得 の維持 (480万)
・大豆の過作	・輪作体系の見直し	・輪作課題ほ場の原因究明 ・新規作型の導入支援	
・秋まき小麦 低い製品歩留	・安定生産	・基本技術の励行 ・葉枯症対策の実証と 防除体系の確立支援	
・高齢化による 地域コミュニティ 機能の低下	・「元気にし隊」による 地域の活性化	・イベント企画運営支援 ・新規参入希望者等の 担い手育成支援	

2 活動の経過（平成28年～令和2年度）

「てんさい直播栽培の安定生産」

栽植密度増加試験による増収



栽植密度増加試験での
は種方法の技術指導

「地域にあった輪作体系の確立」

輪作体系の見直し



農家との輪作状況確認と
課題の協議

新規作型（春まき小麦初冬まき）の
導入支援



優良農家視察の企画

「秋まき小麦の安定生産」

基本技術の励行



講習会による技術指導

葉枯症対策の実証



葉枯症の実態調査・
防除の効果確認

「地域活性化活動の推進」

イベント企画運営支援



イベント内容について協議

3 活動の成果

「てんさい直播栽培の安定生産」

株立本数 8,000本/10aを目標に、
栽植密度向上によって安定生産を実現

目標株立本数 8,000本/10a → H28年株立本数 8,096本/10a

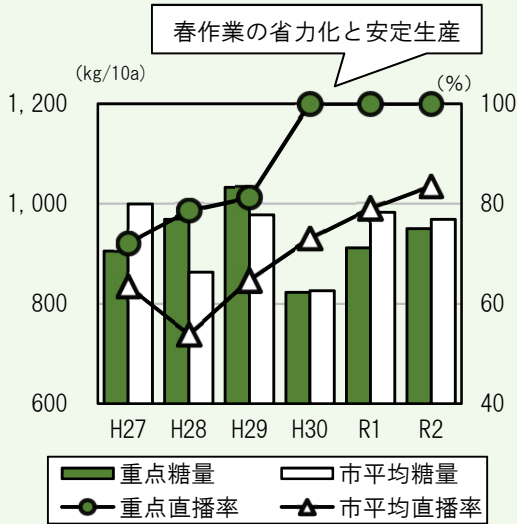


図1 重点地区と市平均におけるてんさいの糖量と直播率の推移

「地域にあった輪作体系の確立」

輪作課題ほ場の透水性改善、
pH矯正によるほ場の収量性向上

新規作型（春小麦初冬まき）の安定生産を実現

明渠による透水性向上



明渠を入れよう！



輪作体系の見直し
↓
輪作課題ほ場の改善必要あり
↓
土壌断面調査
↓
明渠の施工
↓
透水性向上
↓
大豆の収量向上



大豆反収 358kg
対市平均 139%

透水性が改善されたことで、
R3年は小麦を作付予定

教えてもらった施肥技術がうまく登和里にもあったよ！

G農家のコメント

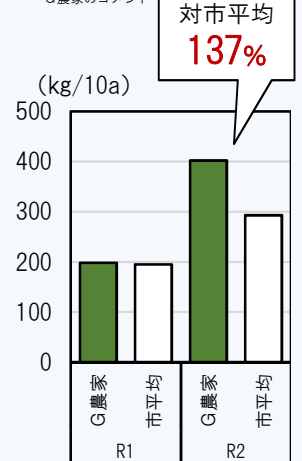


図2 G農家と市平均における春まき小麦初冬まき栽培の収量比較

「秋まき小麦の安定生産」

葉枯症対策の確立と安定生産を実現

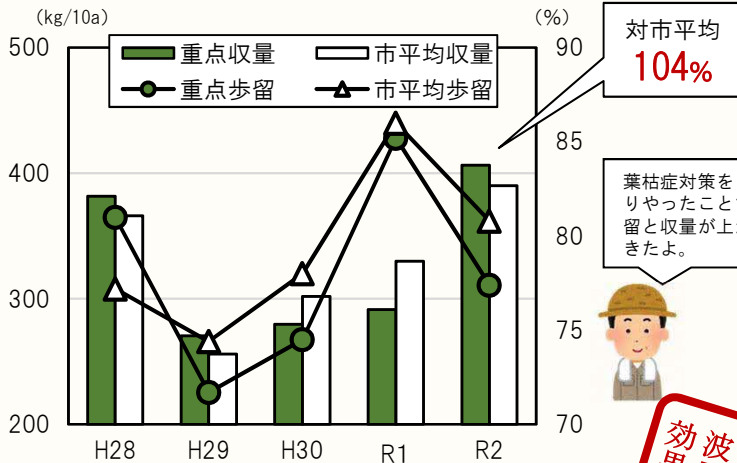


図3 重点地区と市平均における秋まき小麦の収量と歩留の推移

登和里地区で実証された葉枯症対策は
士別管内に波及し、管内の秋まき小麦増収を実現

効果及大



葉枯症対策をしっかりやったことで、歩留と収量が上がってきたよ。

「地域活性化活動の推進」

地域活性化に向け、継続した活動が
新規就農希望者の受け入れに結実



地域イベントでの集合写真

2夫妻が
新規就農
希望者に



栽培技術指導の様子

4 今後の対応

「てんさい直播栽培の安定生産」、「地域にあった輪作体系の確立」、「秋まき小麦の安定生産」等の活動によって、農業所得の維持を実現した。今後も登和里地区の作物生産性の向上と地域の活性化のために支援を継続する。

